

第十四回日本書道院同人展出品要項

- 一、会 期 令和四年十一月二十二日(火)～二十七日(日)
*第十回一〇〇人展・第三十九回選拔展と同時開催
午前十時～午後六時(最終日は午後四時まで)
- 一、会 場 フェニックスホール(銀座三丁目・紙パルプ会館一・二階)
日本書道院展において「同人」の資格を持つ者(第71回展での昇格者含む)
*七〇名程度
*回答ハガキで6月末日までに不出品の場合でも必ず返信のこと
- 一、作品部門 A 漢字、B かな、C 詩文書(A・B・C各部門に1点ずつ、計3点まで出品可)
- 一、体 裁 「軸装」とするが、買取額を希望する場合は、出品時に出品票へ「買い取り額希望」と記載のこと。軸装との差額については表具店と直接相談の上別途請求になります。
- * 作品受付後、本院にて一括して表具店に依頼する
* 表具の色・柄等の指定は出来ない(買取額を除く)
- 一、作品寸法()内の数字は用紙寸法
- ① 小画仙半切(たて135cm×よこ35cm) タテ作品のみ
② 半切 $\frac{3}{8}$ (たて90cm×よこ35cm) タテ作品のみ
③ 半切 $\frac{1}{2}$ (よこ45cm×たて35cm) タテヨコ自由
- * 表具の都合により用紙の大きさは必ず範囲内に収めること
二五、〇〇〇円(表具代を含む)
- 一、出品料 * 作品提出時に同封の振替用紙にて納入すること
* 特別な表装を表具店に依頼した場合は、表装料の差額を各自宛に請求する
- 一、出品票 作品の出品時に同封の出品票を必ず添付のこと
- 一、作品 \times 切 **九月六日(火)本院事務局必着**(裏打ちや表装をしないこと)
* 郵送の場合は封筒に「同人展作品在中」と明記のこと
- 一、鑑別・審査・陳列・褒賞 鑑別により入選したものを陳列する(陳列に関する異議申し立ては認めない)
審査の結果優秀な作品には 優秀賞を授与する(昇格時の参考とする)
* 同人展での優秀賞3回で本展(日書院展)での特別賞と同等の資格を得る
* 表彰式を師範試験合格者への認定書授与式と併せて十二月に開催する
* 入賞者氏名は「日本書道」誌に発表される
- 一、審査員 日本書道院理事
- 一、その他
- 1 本展運営のため実行委員会をおく
2 この要項以外の事項は実行委員会において定める
3 本展覧会に出品する作品の添削指導を希望する者は、住所・氏名(姓・号)を明記し一四〇円切手を貼った返信用封筒を同封の上、七月二十二日(金)までに本院事務局送付のこと
* 添削指導を受けた者は指導料五千円を加えて計三万円を納めること
* 七月二十八日(木)午前十時～午後四時の間(受付三時まで)に川口リリア(川口駅前)で添削指導を行なう。申し込みは七月二十一日(木)までに、はがき・FAXで事務局まで。会場で実習もできる。
- 4 **十一月二十七日(日)に本展覧会懇親会を帝国ホテルで開催します。詳細は改めてご連絡いたします。**

令和四年五月